

Monthly Report

東京海上・厳選資産バランスファンド（毎月決算型）

愛称：円奏会ゴールド

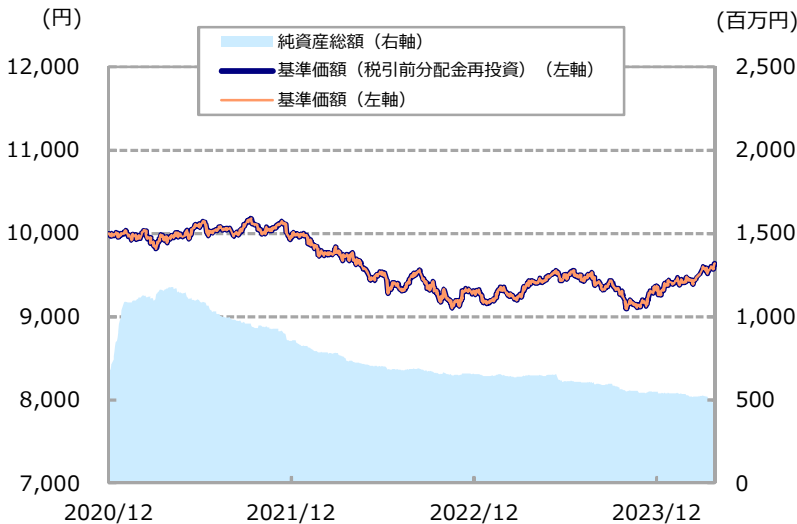
追加型投信／内外／資産複合



日経新聞掲載名：円奏会ゴ毎月

基準価額、パフォーマンス等の状況

基準価額・純資産総額の推移



※基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。  
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。  
 ※基準価額は1万口当たりで表示しています。  
 ※設定日は2020年12月7日です。

基準価額・純資産総額

|       |         |
|-------|---------|
| 基準価額  | 9,640 円 |
| 純資産総額 | 477 百万円 |

騰落率（税引前分配金再投資、%）

|     | ファンド  |
|-----|-------|
| 1ヵ月 | +1.30 |
| 3ヵ月 | +2.34 |
| 6ヵ月 | +4.51 |
| 1年  | +2.22 |
| 3年  | -2.55 |
| 設定来 | -3.60 |

※ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算しているため、実際の投資家利回りとは異なります。

分配の推移（1万口当たり、税引前、円）

| 決算日       | 分配金 | 決算日        | 分配金 |
|-----------|-----|------------|-----|
| 2023/4/13 | 0   | 2023/10/13 | 0   |
| 2023/5/15 | 0   | 2023/11/13 | 0   |
| 2023/6/13 | 0   | 2023/12/13 | 0   |
| 2023/7/13 | 0   | 2024/1/15  | 0   |
| 2023/8/14 | 0   | 2024/2/13  | 0   |
| 2023/9/13 | 0   | 2024/3/13  | 0   |
| 設定来累計     |     | 分配実績なし     |     |

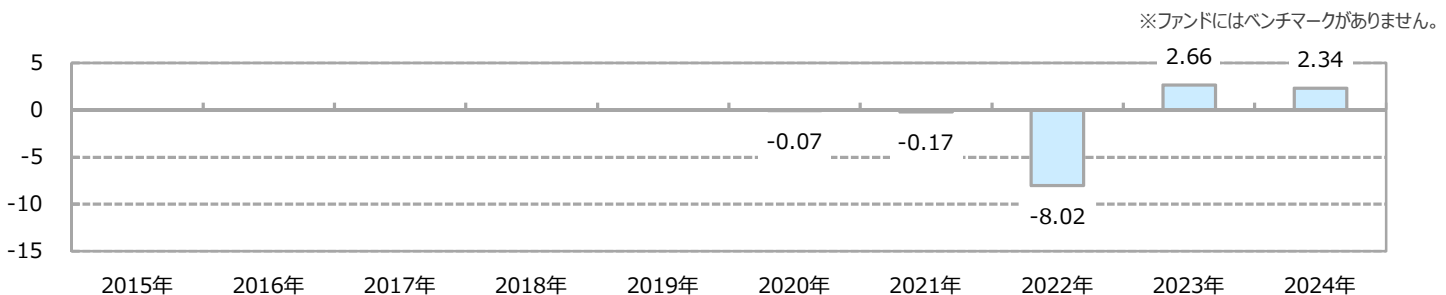
※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。  
 分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

当月の基準価額変動要因（参考情報）

| 騰落額   |                                  | 124 円 |
|-------|----------------------------------|-------|
| 債券    | 東京海上・日系事業債<br>マザーファンド（為替ヘッジあり）   | 2 円   |
|       | 東京海上・ジャパン・オーナーズ株式<br>マザーファンド     | 9 円   |
| 金     | 東京海上・ゴールドETF<br>マザーファンド（為替ヘッジあり） | 121 円 |
|       | 分配金                              | 0 円   |
| 信託報酬等 |                                  | -8 円  |

※上記は簡便法で計算しており、その正確性、完全性等を保証するものではありません。傾向を知るための目安としてご覧ください。  
 ※上記は過去の実績であり、将来の動向等を示唆・保証するものではありません。

年間収益率の推移（%）



※ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資したものと計算しており、設定日以降を表示しています。  
 ※設定年は設定時と年末の騰落率です。当年は昨年末と基準日の騰落率です。※上記は過去の実績であり、将来の動向等を示唆・保証するものではありません。

※11ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

Monthly Report

東京海上・厳選資産バランスファンド（年1回決算型）

愛称：円奏会ゴールド

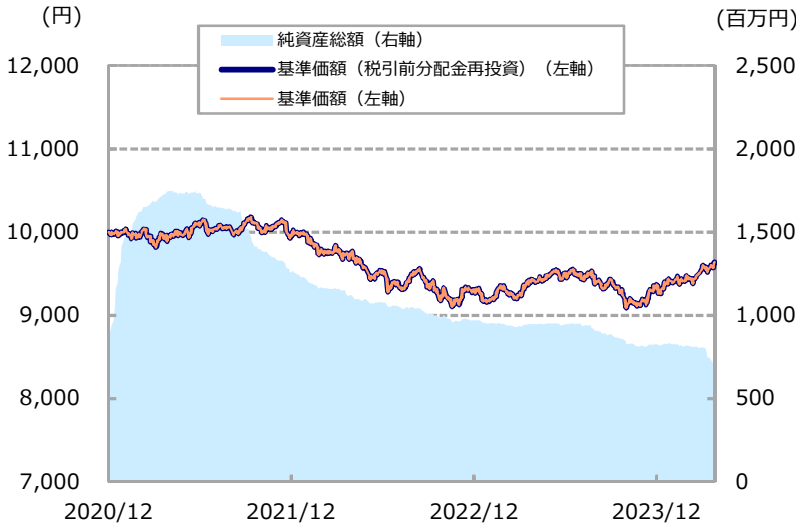
追加型投信／内外／資産複合



日経新聞掲載名：円奏会ゴ年1

基準価額、パフォーマンス等の状況

基準価額・純資産総額の推移



※基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。  
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。  
 ※基準価額は1万口当たりで表示しています。  
 ※設定日は2020年12月7日です。

基準価額・純資産総額

|       |         |
|-------|---------|
| 基準価額  | 9,640 円 |
| 純資産総額 | 693 百万円 |

騰落率（税引前分配金再投資、%）

|     | ファンド  |
|-----|-------|
| 1か月 | +1.31 |
| 3か月 | +2.35 |
| 6か月 | +4.52 |
| 1年  | +2.23 |
| 3年  | -2.54 |
| 設定来 | -3.60 |

※ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したも  
 のとして計算しているため、実際の投資家利回りと  
 は異なります。

分配の推移（1万口当たり、税引前、円）

| 期     | 決算日       | 分配金    |
|-------|-----------|--------|
| 第1期   | 2021/5/13 | 0      |
| 第2期   | 2022/5/13 | 0      |
| 第3期   | 2023/5/15 | 0      |
| 第4期   | 2024/5/13 |        |
| 第5期   | 2025/5/13 |        |
| 設定来累計 |           | 分配実績なし |

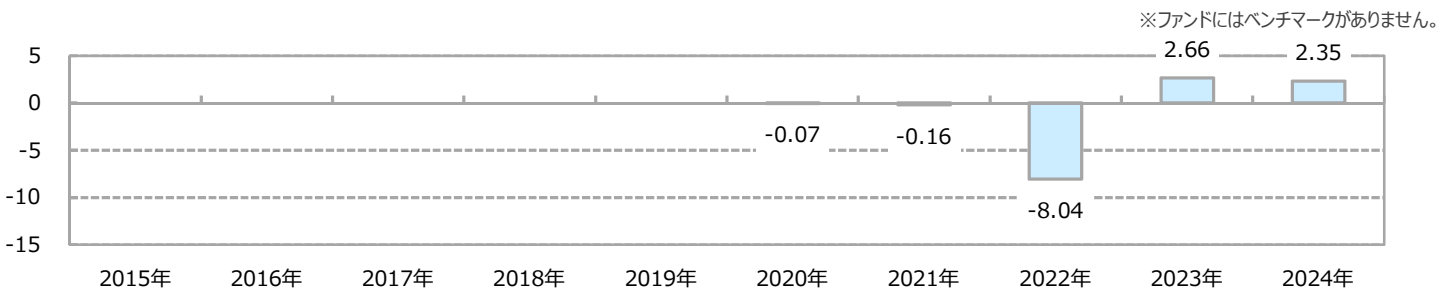
※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。  
 分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

当月の基準価額変動要因（参考情報）

|       |                                  |       |
|-------|----------------------------------|-------|
| 騰落額   |                                  | 125 円 |
| 債券    | 東京海上・日系事業債<br>マザーファンド（為替ヘッジあり）   | 2 円   |
|       | 東京海上・ジャパン・オーナーズ株式<br>マザーファンド     | 9 円   |
| 金     | 東京海上・ゴールドETF<br>マザーファンド（為替ヘッジあり） | 121 円 |
|       | 分配金                              | 0 円   |
| 信託報酬等 |                                  | -7 円  |

※上記は簡便法で計算しており、その正確性、完全性等を保証するものではあり  
 ません。傾向を知るための目安としてご覧ください。  
 ※上記は過去の実績であり、将来の動向等を示唆・保証するものではありません。

年間収益率の推移（%）



※ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資したも  
 のとして計算しており、設定日以降を表示しています。  
 ※設定年は設定時と年末の騰落率です。当年は昨年末と基準日の騰落率です。※上記は過去の実績であり、将来の動向等を示唆・保証するものではありません。

※11ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

## Monthly Report

## 東京海上・厳選資産バランスファンド（毎月決算型）／（年1回決算型）

愛称：円奏会ゴールド

## 主要な資産の状況

## 各マザーファンド組入比率、騰落率（％）

| マザーファンド | 基本資産<br>配分 | 毎月決算型 |      | 年1回決算型 |      | 騰落率   |        |
|---------|------------|-------|------|--------|------|-------|--------|
|         |            | 組入比率  | 差    | 組入比率   | 差    | 1か月   | 1年     |
| 債券      | 70.0       | 69.1  | -0.9 | 69.3   | -0.7 | +0.03 | -0.53  |
| 株式      | 15.0       | 14.9  | -0.1 | 14.9   | -0.1 | +0.61 | +18.31 |
| 金       | 15.0       | 16.1  | +1.1 | 16.1   | +1.1 | +8.54 | +5.37  |
| 短期金融資産等 | -          | -0.0  | -0.0 | -0.4   | -0.4 |       |        |

※比率は、純資産総額に占める割合です。

※短期金融資産等には未払金等が含まれるため、組入比率がマイナスとなる場合があります。

## ファンドマネージャーコメント

## &lt;運用経過および今後の運用方針&gt;

「毎月決算型」および「年1回決算型」について、債券、株式、金のマザーファンド基本配分比率をそれぞれ70%、15%、15%としました。債券のマザーファンドでは、円建社債や日系外債に投資を行うことにより、安定的なリターンと国債を上回るインカムゲインの獲得をめざしました。株式のマザーファンドでは、経営者が実質的に主要な株主である企業を主要投資対象とし、中長期的なリターンの獲得をめざしました。金のマザーファンドでは、金現物価格への連動をめざすETF（上場投資信託証券）に投資しました。なお、日系外債、金ETF等の外貨建資産については、為替ヘッジを行うことにより為替変動リスクの低減を図りました。

その間マーケットでは、債券市場では日米債券市場が安定的に推移したことから、債券のマザーファンドの基準価額は小幅に上昇しました。株式市場は国内株式市場が上昇したことから、株式のマザーファンドの基準価額は上昇しました。金市場は米国長期金利の低下を受けて上昇したことから、金のマザーファンドの基準価額は上昇しました。

以上のような環境下、ファンドの基準価額は「毎月決算型」「年1回決算型」ともに上昇しました。

引き続き、債券、株式、金への分散投資を通じて、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざす方針です。

※11ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

## Monthly Report

## 東京海上・厳選資産バランスファンド（毎月決算型）／（年1回決算型）

愛称：円奏会ゴールド

## ファンドマネージャーコメント

## 市場の投資環境

【債券市場：日米債利回りは、安定的に推移】

&lt;国内債券市場&gt;

3月の国内長期金利（10年国債利回り）は、小幅に上昇しました。

日銀が3月にもマイナス金利を解除するとの観測報道を受けて、10年国債利回りは月半ばにかけて上昇基調となりました。また、春闘で賃上げ率が当初想定を上回る力強いものとなったことも金利上昇を後押しする要因となりました。中旬に実施された日銀金融政策決定会合では、マイナス金利政策の解除およびYCC（イールドカーブ・コントロール）政策の廃止が決定されましたが、これらの政策変更が事前の想定範囲内であったことから市場参加者間には安心感が広がり、10年国債利回りは低下に転じました。月末の10年国債利回りは、日銀国債買い切りオペ減額への警戒感などから小幅に上昇し、0.7%台前半の水準で当月を終えました。

当月、国内長期金利は小幅に上昇したものの、社債利回りは小幅に低下しました。3月の日銀による金融政策の修正が、クレジット市場に相当程度織り込まれていたことで影響は限定的であったことに加え、新発債の供給が限られ、社債の需給環境の改善が続いたこともあり、社債市場は安定的に推移しました。

&lt;外国債券市場&gt;

米国債利回りは小幅に低下しました。上旬は、米国ISM（供給管理協会）景況感指数が低下したことや雇用関連の指標に鈍化が見られたことなどを背景に、米国債利回りは低下しました。中旬は、物価関連の統計が事前予想を上回ったことから米国債利回りは上昇しました。その後、FOMC（米連邦公開市場委員会）で2024年内の利下げ見通しが維持されたことなどから、米国債利回りは小幅に低下基調となり、月を通して小幅に低下しました。

グローバルの社債スプレッド（社債と国債の利回り格差）は、縮小しました。

月前半は新発社債に堅調な需要が集まったことを受けてスプレッドは縮小しました。月後半に急速なスプレッド縮小に対する警戒感が高まったものの新発社債に対する堅調な需要は継続し、月を通してスプレッドは縮小しました。

日系企業の外貨建社債スプレッドもおおむね同様の動きとなりました。

【国内株式市場：マイナス金利解除も緩和的な金融政策継続に安心感】

3月の国内株式市場は、TOPIXは3.47%上昇（配当込みベースは4.44%上昇）、日経平均株価は3.07%上昇しました。

上旬は、米国でハイテク関連株を中心に株価が上昇した流れなどを受けて、国内株式市場は上昇して始まりました。その後も、一部の建設会社が配当方針引き上げなどの資本政策を発表したことが好感され、国内株式市場は上昇しました。

中旬は、3月の日銀金融政策決定会合においてマイナス金利政策が解除されるとの観測が高まり、円高米ドル安が進行したことが嫌気される局面もありましたが、マイナス金利政策の解除後も日銀は緩和的な金融政策を維持するとの見方が強まり、円安米ドル高が進行したことから、国内株式市場は値を戻す展開になりました。

下旬は、米国においてFOMC参加者による2024年末の政策金利の予測中央値が年内3回の利下げを示唆するものとなり、前回の見通しと変わらなかったことから、市場に安心感が広がる局面もあったものの、円安米ドル高の進行や株価急上昇に対する警戒感が高まり、国内株式市場はおおむね横ばいとなりました。

【金市場：米国の利下げ期待を受けて上昇】

パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長の議会証言に加え、3月のFOMCで2024年内での利下げ見通しが維持されたことなどから利下げ期待が高まり、米国債利回りは低下しました。国債利回りの低下は利息を生まない金にとって相対的な価値の上昇に繋がることから、金価格は上昇しました。

&lt;信託終了（繰上償還）予定のお知らせ&gt;

「東京海上・日系事業債マザーファンド（為替ヘッジあり）」の繰上償還にかかる書面決議が可決された場合、「東京海上・厳選資産バランスファンド（毎月決算型）」および「東京海上・厳選資産バランスファンド（年1回決算型）」は2024年5月9日をもって繰上償還いたします。

（書面決議の日：2024年4月12日）

繰上償還にかかる書面決議の結果は、書面決議終了後、速やかに弊社ホームページ等にてお知らせいたします。

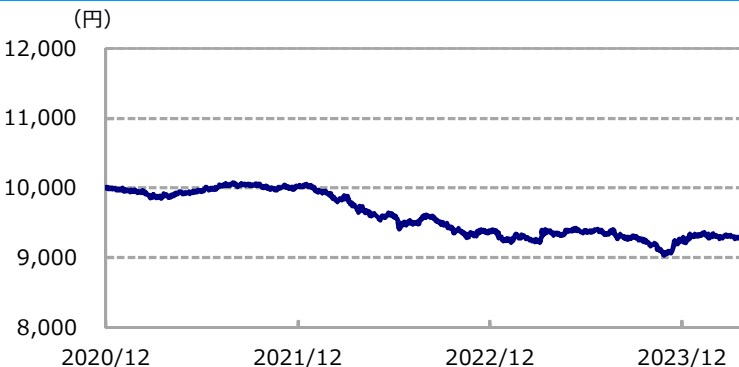
## Monthly Report

## 東京海上・厳選資産バランスファンド（毎月決算型）／（年1回決算型）

愛称：円奏会ゴールド

## 東京海上・日系事業債マザーファンド（為替ヘッジあり）

## 基準価額の推移



※ペーパーファンド設定日前営業日（設定日：2020年12月7日）のマザーファンドの基準価額を10,000円として指数化しています。

※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

## 資産構成 (%)

| 資産      | 比率    |
|---------|-------|
| 円建社債    | 70.7  |
| 日系外債    | 24.7  |
| 短期金融資産等 | 4.7   |
| 合計      | 100.0 |

純資産総額 810 百万円

※円建社債は、国債や地方債等を含む場合があります。

※短期金融資産等は、組入有価証券以外のものです。

## 保有債券の属性情報

|              |      |
|--------------|------|
| 残存期間 (年)     | 7.14 |
| 修正デュレーション    | 6.87 |
| クーポン (%)     | 1.26 |
| 最終利回り (複利、%) | 1.97 |
| 平均格付         | AA+  |

## 格付別構成 (%)

| 格付   | 比率   |
|------|------|
| AAA格 | 55.4 |
| AA格  | 23.9 |
| A格   | 20.7 |
| BBB格 | -    |
| その他  | -    |

## 保有債券の組入上位5通貨 (%)

|   | 通貨  | 比率   |
|---|-----|------|
| 1 | 日本円 | 70.7 |
| 2 | 米ドル | 24.7 |
| 3 |     |      |
| 4 |     |      |
| 5 |     |      |

※+・-等の符号は省略して表示しています。

## 組入上位5銘柄

|   | 銘柄                  | クーポン (%) | 償還日        | 通貨  | 格付  | 比率 (%) |
|---|---------------------|----------|------------|-----|-----|--------|
| 1 | 第47回京浜急行電鉄株式会社無担保社債 | 0.67     | 2040/11/27 | 日本円 | A+  | 10.5   |
| 2 | 日本生命保険              | 5.1      | 2024/10/16 | 米ドル | A-  | 9.3    |
| 3 | 第372回利付国債 (10年)     | 0.8      | 2033/9/20  | 日本円 | AAA | 8.7    |
| 4 | アメリカンホンダファイナンス      | 2.25     | 2029/1/12  | 米ドル | AA  | 8.3    |
| 5 | 豊田自動織機              | 3.566    | 2027/12/16 | 米ドル | AA+ | 7.1    |

組入銘柄数 17

※「資産構成」「保有債券の組入上位5通貨」「組入上位5銘柄」の比率は、純資産総額に占める割合です。「格付別構成」の比率は、保有債券の時価総額に占める割合です。

※「組入上位5銘柄」の償還日は、繰上償還条項が付与されている銘柄は基準日以降最初の繰上償還予定日を表示しています。

※「保有債券の属性情報」は、各保有債券の数値を加重平均した数値です。保有債券の時価評価額を基に計算しています。残存期間、修正デュレーション、最終利回りは、途中償還等を考慮して計算または繰上償還条項が付与されている銘柄は基準日以降最初の繰上償還予定日を使用して計算しています。平均格付は、格付毎に点数化し、加重平均した結果を四捨五入して表示しており、当ファンドの格付ではありません。また、保有債券のうち、格付が取得できない場合は、除外して計算しています。

(注) 格付はMoody's社、S&amp;P社、R&amp;I社、JCR社、Fitch社のうち、原則として、個別債券格付、母体企業格付の中から上位の格付を集計、記載しています。ただし、個別債券格付と母体企業格付がBBB-以上に該当しない銘柄については、発行体格付を含めて集計、記載しています。

※11ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

## Monthly Report

## 東京海上・厳選資産バランスファンド（毎月決算型）／（年1回決算型）

愛称：円奏会ゴールド

## 東京海上・ジャパン・オーナーズ株式マザーファンド

## 基準価額の推移



※ベビーファンド設定日前営業日（設定日：2020年12月7日）のマザーファンドの基準価額を10,000円として指数化しています。

※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

## 資産構成（%）

| 資産      | 比率         |
|---------|------------|
| 株式      | 97.3       |
| 株式先物    | -          |
| 短期金融資産等 | 2.7        |
| 合計      | 100.0      |
| 純資産総額   | 72,214 百万円 |

## 組入上位5業種（%）

|   | 業種     | 比率   |
|---|--------|------|
| 1 | サービス業  | 19.3 |
| 2 | 情報・通信業 | 15.0 |
| 3 | 小売業    | 14.4 |
| 4 | 電気機器   | 9.8  |
| 5 | 機械     | 9.4  |

## 組入上位5銘柄（%）

|   | 銘柄         | 業種     | 比率  |
|---|------------|--------|-----|
| 1 | ソフトバンクグループ | 情報・通信業 | 3.6 |
| 2 | ローツエ       | 機械     | 3.5 |
| 3 | タカラトミー     | その他製品  | 3.4 |
| 4 | メイコー       | 電気機器   | 3.4 |
| 5 | サイバーエージェント | サービス業  | 3.3 |

※短期金融資産等は、組入有価証券以外のものです。 ※比率は、純資産総額に占める割合です。

組入銘柄数 77

## 東京海上・ゴールドETFマザーファンド（為替ヘッジあり）

## 基準価額の推移



※ベビーファンド設定日前営業日（設定日：2020年12月7日）のマザーファンドの基準価額を10,000円として指数化しています。

※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

## 資産構成（%）

| 資産            | 比率      |
|---------------|---------|
| 上場投資信託証券（ETF） | 98.5    |
| 短期金融資産等       | 1.5     |
| 合計            | 100.0   |
| 純資産総額         | 188 百万円 |

## 組入上位5銘柄（%）

|   | 銘柄                         | 国    | 比率   |
|---|----------------------------|------|------|
| 1 | SPDR GOLD MINISHARES TRUST | アメリカ | 98.5 |
| 2 |                            |      |      |
| 3 |                            |      |      |
| 4 |                            |      |      |
| 5 |                            |      |      |

※短期金融資産等は、組入有価証券以外のものです。 ※比率は、純資産総額に占める割合です。

組入銘柄数 1

※11ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

## Monthly Report

## 東京海上・厳選資産バランスファンド（毎月決算型）／（年1回決算型）

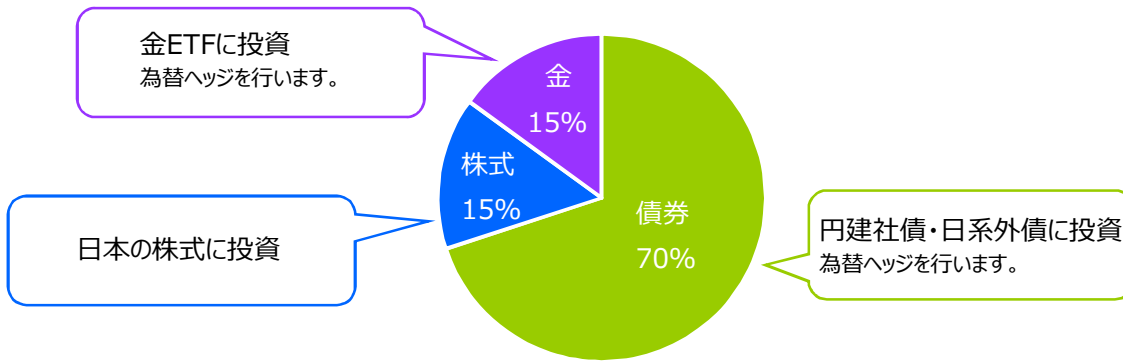
愛称：円奏会ゴールド

## ファンドの特色（詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

1. マザーファンドへの投資を通じて、複数の資産（債券、株式、金）に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

| 資産 | マザーファンド                      |
|----|------------------------------|
| 債券 | 東京海上・日系事業債マザーファンド（為替ヘッジあり）   |
| 株式 | 東京海上・ジャパン・オーナーズ株式マザーファンド     |
| 金  | 東京海上・ゴールドETFマザーファンド（為替ヘッジあり） |

2. 各資産への配分比率は、債券70%、株式15%、金15%を基本とします。



- ・ 投資環境・経済構造等の変化によっては、資産配分を調整することがあります。
- ・ 原則として月次でリバランスを行います。

※ 組入資産の価格変動や市況の動向等によっては、各資産の実際の組入比率は上記比率と異なる場合があります。  
 ※ 上図はイメージであり、実際のファンドの運用を示すものではありません。

3. 外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行うことにより為替変動リスクの低減を図ります。

※ 為替ヘッジを行うことで、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。  
 ※ 一般的に、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、これらの金利差相当分のヘッジコストが発生します。  
 ただし、為替市場における需給の影響等によっては、金利差相当分以上のヘッジコストがかかる場合があります。

資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

※11ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

## Monthly Report

## 東京海上・厳選資産バランスファンド（毎月決算型）／（年1回決算型）

愛称：円奏会ゴールド

## ファンドの主なリスクについて（詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

- ・ 投資する有価証券等の値動きにより基準価額は変動します。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。
- ・ 運用による損益は、全て投資者に帰属します。
- ・ 投資信託は預貯金や保険と異なります。
- ・ ファンドへの投資には主に以下のリスクが想定されます。

- 価格変動リスク : 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給等を反映して変動します。株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります（発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。）。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。金の価格は、需給関係や為替、金利変動、政治・経済的事由、技術発展、資源開発、政府の規制・介入、投機資金の動向等の様々な要因により変動します。金の価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
- 金利変動リスク : 公社債は、一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、反対に金利が下落した場合には価格は上昇します。したがって、金利が上昇した場合、基準価額が下落する要因となります。
- 信用リスク : 一般に、公社債や短期金融商品等の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合、またはデフォルトが予想される場合には、当該公社債等の価格は大幅に下落することになります。したがって、組入公社債等にデフォルトが生じた場合、またデフォルトが予想される場合には、基準価額が下落する要因となります。
- 為替変動リスク : 外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動の他、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向にすすんだ場合には、基準価額が下落する要因となります。なお、ファンドは原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、円金利がヘッジ対象通貨建ての金利より低い場合、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかります。ただし、為替市場における需給の影響等によっては、金利差相当分以上のヘッジコストがかかる場合があります。
- カントリーリスク : 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想以上に下落したり、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。
- 流動性リスク : 受益者から解約申込があった場合、組入資産を売却することで解約資金の手当てを行うことがあります。その際、組入資産の市場における流動性が低いときには直前の市場価格よりも大幅に安い価格で売却せざるを得ないことがあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※11ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。



Monthly Report

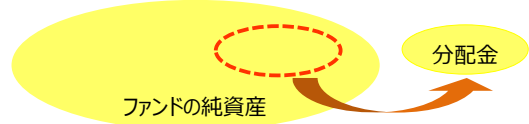
東京海上・厳選資産バランスファンド（毎月決算型）／（年1回決算型）

愛称：円奏会ゴールド

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

分配金が支払われるイメージ

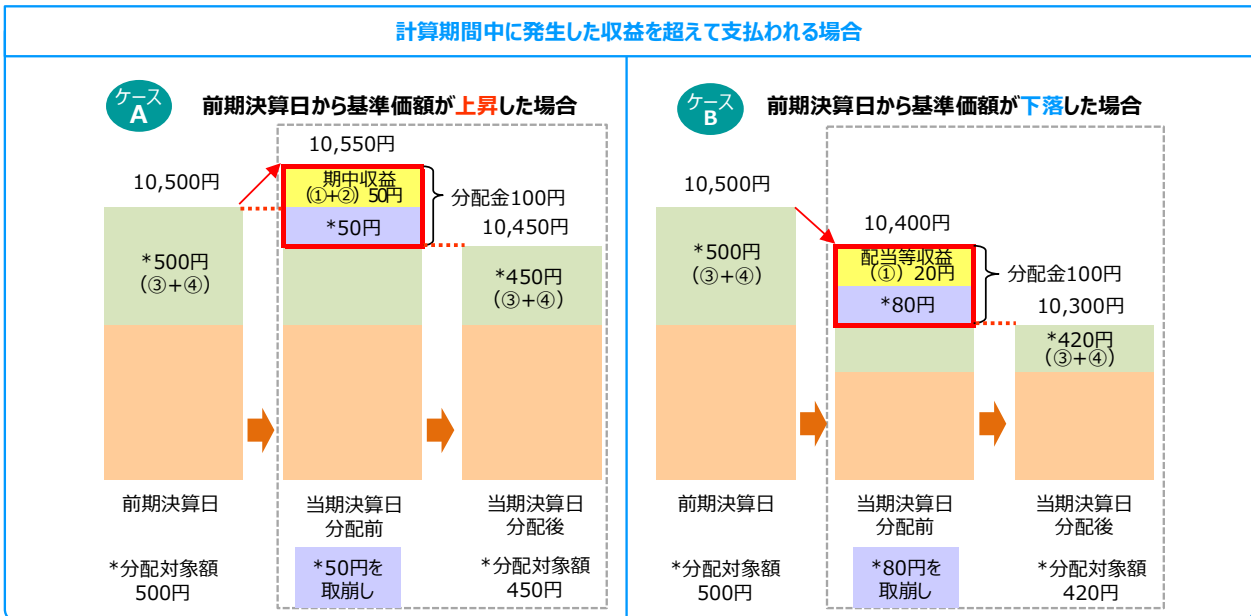


- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。  
分配対象額とは、

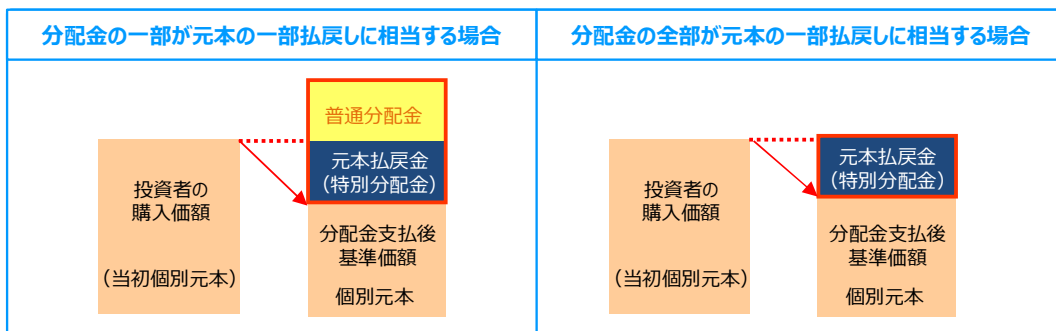
- ①配当等収益（経費控除後）
  - ②評価益を含む売買益（経費控除後）
  - ③分配準備積立金
  - ④収益調整金
- です。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



※上図はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。

普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

※11ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

## Monthly Report

## 東京海上・厳選資産バランスファンド（毎月決算型）／（年1回決算型）

愛称：円奏会ゴールド

## お申込みメモ（詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

|                |  |
|----------------|--|
| 購入単位           | 販売会社が定める単位。詳しくは販売会社にお問い合わせください。  |
| 購入価額           | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額  |
| 換金単位           | 販売会社が定める単位。詳しくは販売会社にお問い合わせください。  |
| 換金価額           | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額  |
| 換金代金           | 原則として、換金申込受付日から起算して、5営業日目からお支払いします。  |
| 申込締切時間         | 原則として午後3時までに、販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。  |
| 換金制限           | ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金には制限を設ける場合があります。  |
| 購入・換金<br>申込不可日 | 以下に該当する日には、購入・換金のお申込みができません。<br>・ニューヨーク証券取引所の休業日<br>・ニューヨークの銀行の休業日   |
| 信託期間           | 2031年5月13日まで（2020年12月7日設定）   |
| 繰上償還           | 以下に該当する場合等には、繰上償還することがあります。<br>・受益権の総口数が10億口を下回ることとなったとき<br>・ファンドを償還することが受益者のため有利であると認めるとき<br>・やむを得ない事情が発生したとき   |
| 決算日            | <b>毎月決算型</b><br>毎月13日（休業日の場合は翌営業日）<br><b>年1回決算型</b><br>5月13日（休業日の場合は翌営業日）  |
| 収益分配           | <b>毎月決算型</b><br>年12回の決算時に収益分配方針に基づき、収益分配を行います。<br>※販売会社との契約によっては再投資が可能です。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。<br><b>年1回決算型</b><br>年1回の決算時に収益分配方針に基づき、収益分配を行います。<br>※販売会社との契約によっては再投資が可能です。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 |
| 課税関係           | 収益分配時の普通分配金、換金時および償還時の差益に対して課税されます。<br>課税上は株式投資信託として取扱われます。<br>公募株式投資信託は、税法上、一定の条件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA」の適用対象となります。<br>ファンドは、「NISA」の対象ではありません。<br>配当控除および益金不算入制度の適用はありません。<br>※税法が改正された場合等には、内容等が変更される場合があります。    |

## ファンドの費用（詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

## ■ 投資者が直接的に負担する費用

|         |  |
|---------|--|
| 購入時手数料  | 購入価額に対して <b>上限1.65%（税抜1.5%）</b> の範囲内で販売会社が定める率をかけた額とします。<br>詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 信託財産留保額 | ありません。   |

## ■ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

|                  |  |
|------------------|--|
| 運用管理費用<br>（信託報酬） | ファンドの純資産総額に <b>年率0.924%（税抜0.84%）</b> をかけた額とします。  |
| その他の費用・<br>手数料   | 以下の費用・手数料等がファンドから支払われます。<br>・ 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用<br>ファンドの純資産総額に年率0.011%（税込）をかけた額（上限年99万円）<br>・ 組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料<br>・ 資産を外国で保管する場合にかかる費用<br>・ 信託事務等にかかる諸費用<br>※ 監査にかかる費用を除く上記の費用・手数料等は、取引等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。 |

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、事前に表示することができません。

※ファンドが実質的に投資するETFについては、市場の需給等により価格形成されるため、ETFの費用は表示しておりません。

※11ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

## Monthly Report

## 東京海上・厳選資産バランスファンド（毎月決算型）／（年1回決算型）

愛称：円奏会ゴールド

## 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、東京海上アセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申込みに当たっては必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社までご請求ください。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績は、過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
- 投資信託は、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。
- 投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。
- 登録金融機関から購入した投資信託は、投資者保護基金の補償対象ではありません。

## 委託会社、その他関係法人

- 委託会社：東京海上アセットマネジメント株式会社  
ファンドの運用の指図を行います。  
商号等：東京海上アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第361号  
加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
- 受託会社：三井住友信託銀行株式会社  
ファンドの財産の保管・管理を行います。
- 販売会社

| 商号（五十音順）     | 登録金融機関 | 金融商品取引業者 | 登録番号          | 加入協会    |           |                  |                     |
|--------------|--------|----------|---------------|---------|-----------|------------------|---------------------|
|              |        |          |               | 日本証券業協会 | 日本投資顧問業協会 | 一般社団法人 金融先物取引業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 |
| 株式会社 関西みらい銀行 | ○      |          | 近畿財務局長（登金）第7号 | ○       |           | ○                |                     |

Monthly Report

東京海上・厳選資産バランスファンド（毎月決算型）／（年1回決算型）

愛称：円奏会ゴールド

## 当ファンドの照会先

前掲の販売会社または下記までお問い合わせください。

東京海上アセットマネジメント サービスデスク 0120-712-016 受付時間：営業日の9時～17時  
ホームページ <https://www.tokiomarineam.co.jp/>

ファンド特集ページ公開中



※11ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。